

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月1日

上場会社名 大都魚類株式会社

上場取引所 東

コード番号 8044 URL <http://www.daitogyorui.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加茂秀樹

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 国司博美

TEL 03-5565-8114

四半期報告書提出予定日 平成22年2月8日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	112,948	△5.8	280	△11.2	254	△3.8	186	34.6
21年3月期第3四半期	119,902	—	315	—	264	—	138	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	5.91	—
21年3月期第3四半期	4.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	38,402	12,425	32.0	389.79
21年3月期	33,324	12,396	36.8	389.19

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 12,279百万円 21年3月期 12,261百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	5.00	5.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	146,000	△4.7	320	4.5	280	5.1	200	191.4	6.35

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	31,622,740株	21年3月期	31,622,740株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	120,534株	21年3月期	119,019株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	31,502,921株	21年3月期第3四半期	31,512,088株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における水産物卸売業界の状況として、東京都中央卸売市場における水産物の取扱状況をみますと、数量が減少するとともに単価が低下し、その結果、取扱金額が大きく減少するという厳しい状況でありました。

このような状況下で、売上高は112,948百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ（以下同じ）5.8%の減収になりました。収益面では、売上高が減少したことにより売上総利益は6,108百万円と2.8%の減益になり、販売費及び一般管理費は節減に努め2.3%減少の5,827百万円となりましたが、営業利益は280百万円と11.2%の減益、経常利益は254百万円と3.8%の減益になりました。特別利益に貸倒引当金戻入額を計上したため、四半期純利益は186百万円と34.6%の増益になりました。

事業の種類別セグメントの実績は次のとおりであります。

(1) 水産物卸売業

消費の落ち込み等の影響と魚価の低迷により売上高は104,089百万円と4.8%の減収になりましたが、売上総利益率の向上と経費の節減により、営業利益は117百万円と16.8%の増益になりました。

(2) 不動産賃貸業

賃貸オフィスビルを主体に、売上高は225百万円と8.8%の減収になり、営業利益も92百万円と18.9%の減益になりました。

(3) 水産物その他事業

水産物の冷蔵、加工及び販売を主体に、売上高は8,634百万円と16.2%の減収になり、営業利益も70百万円と30.3%の減益になりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの資金政策として、グループの資金調達を当社に集約することによって効率化を図っております。また、内部留保の充実により、有利子負債の圧縮を目指しております。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加、たな卸資産の増加等により2,056百万円の減少（前年同期4,556百万円減少）、投資活動によるキャッシュ・フローは、貸付金の増加等により895百万円の減少（前年同期374百万円減少）、財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加等により2,131百万円の増加（前年同期4,181百万円増加）となっております。この結果、現金及び現金同等物の第3四半期連結累計期間末残高は2,521百万円（前年同期3,103百万円）となり、キャッシュ・フローは前連結会計年度末に比し820百万円減少（前年同期749百万円減少）しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間においては、景気の低迷による個人所得の減少や雇用環境の悪化から、個人消費の減退や低価格志向が進むという厳しい環境で推移しました。中核セグメントである水産物卸売業において、全般的な単価の低下の影響を受け、売上高は減収となっており、売上総利益も減益、販売費及び一般管理費の節減に努めましたが、営業利益・経常利益とも減益となっております。また、平成22年3月期通期において、第4四半期も景気低迷は続くものと予想しており、平成21年10月19日開示の通期の連結業績予想を下記の通り修正しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	146,000	420	380	240	7.62
今回修正予想（B）	146,000	320	280	200	6.35
増減額（B－A）	—	△100	△100	△40	—
増減率（%）	0.0	△23.8	△26.3	△16.7	—
前期実績	153,217	306	266	68	2.18

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関して収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している有形固定資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,521	3,341
受取手形及び売掛金	14,514	12,603
商品及び製品	12,918	10,683
原材料及び貯蔵品	149	122
その他	2,469	1,998
貸倒引当金	△465	△1,515
流動資産合計	32,109	27,235
固定資産		
有形固定資産	4,866	4,898
無形固定資産	109	119
投資その他の資産	1,317	1,070
固定資産合計	6,293	6,088
資産合計	38,402	33,324
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,226	4,841
短期借入金	15,480	13,180
未払法人税等	125	15
賞与引当金	7	17
その他	1,107	781
流動負債合計	23,947	18,835
固定負債		
退職給付引当金	935	927
その他	1,093	1,164
固定負債合計	2,028	2,092
負債合計	25,976	20,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,628	2,628
資本剰余金	1,628	1,628
利益剰余金	7,907	7,879
自己株式	△21	△21
株主資本合計	12,142	12,114
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	136	146
評価・換算差額等合計	136	146
少数株主持分	146	135
純資産合計	12,425	12,396
負債純資産合計	38,402	33,324

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	119,902	112,948
売上原価	113,620	106,840
売上総利益	6,281	6,108
販売費及び一般管理費	5,965	5,827
営業利益	315	280
営業外収益		
受取利息	15	12
受取配当金	26	20
その他	11	23
営業外収益合計	53	56
営業外費用		
支払利息	101	81
その他	2	1
営業外費用合計	104	82
経常利益	264	254
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	54
関係会社株式売却益	63	—
その他	—	0
特別利益合計	65	54
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	—	1
役員退職慰労金	31	—
その他	—	1
特別損失合計	31	3
税金等調整前四半期純利益	299	305
法人税等	135	105
少数株主利益	24	13
四半期純利益	138	186

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	299	305
減価償却費	134	138
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11	△54
受取利息及び受取配当金	△42	△32
支払利息	101	81
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,423	△3,163
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△996	△2,261
仕入債務の増減額 (△は減少)	△148	2,385
関係会社株式売却損益 (△は益)	△63	—
その他	165	512
小計	△3,985	△2,088
利息及び配当金の受取額	42	32
利息の支払額	△101	△81
法人税等の支払額	△511	△62
法人税等の還付額	—	143
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,556	△2,056
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△11	△1
投資有価証券の償還による収入	20	—
関係会社株式の売却による収入	312	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△53	△88
有形及び無形固定資産の売却による収入	20	1
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△758	△807
その他	97	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△374	△895
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,342	2,300
配当金の支払額	△157	△157
その他	△3	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,181	2,131
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△749	△820
現金及び現金同等物の期首残高	3,853	3,341
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,103	2,521

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

科目	水産物卸売業 (百万円)	不動産賃貸業 (百万円)	水産物その 他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去または 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	109,349	247	10,304	119,902	—	119,902
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	1,090	7	1,204	2,302	(2,302)	—
計	110,400	254	10,509	122,204	(2,302)	119,902
営業利益	100	113	101	315	(—)	315

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

科目	水産物卸売業 (百万円)	不動産賃貸業 (百万円)	水産物その 他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去または 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	104,089	225	8,634	112,948	—	112,948
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	1,423	11	1,941	3,376	(3,376)	—
計	105,512	237	10,575	116,325	(3,376)	112,948
営業利益	117	92	70	280	(—)	280

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。